(тш/		1 .	7%21	沙 手 木 们 區 2	· I		十八	24 + 0	<u>月 13 日</u>	ITFIX			
事務事業	■サービス部	3門 都整	-34		下水道使用料等賦課徴収事業								
No./名 称	디文 阪 마	1 1											
主管課	下水道河川	課(下水	道課)	関連課									
分野名	下水道•河川	下水道·河川											
目標 (目標値)	徴収率の向上												
人口等の	データ区分 23年度 22年度 21年度 備 考												
データ	人口	1	77,204人	17	77,161人		176,669人	•各年	年4月1日				
	世帯数	79	9,217世帯	78	,812世帯		78,131世帯	(住居	民基本台帳)			
	事業の対象者数	1.	55,898人	15	55,752人		154,608人						
運営資源	決算値(千円)		109,286	1	10,375		109,927						
状 況	(国・県)												
	(負担金等)												
	(一般財源)		109,286	1	10,375		109,927						
	人員配置数		3.3		2.4		2.4						
	人件費(千円)		28,815	:	21,087		21,274						
	協働の								_				
	パートナー												
事務事業	総事業費(千円)		138,101	1	31,462		131,201						
運営経費	市民1人当 りの経費(円)		779		742		743						
	対象者1人 当りの経費(円)		886		844		849						
ベンチマーク	団体名⇒	平塚市	市 │ 藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市								
(県内外自治体	H22年度	97.74	% 83.88%	97.91%	97.43%								
や民間団体と	使用料徴収率												
の比較値)													
指標		評価	年度	21年度	22年度		23年度	24年度	最終年	丰度(年度)			
下水道使用料徴収率		Δ	目標値		100%		100%	100%		100%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前 進 ◆ 株代い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			実績値	98.88%	97.81%		97.42%						
評価のポイント													

	評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的 な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
			事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切:	=0 .	要改善=△(評	価の視点を参照)	⇒	方向性		€•拡大 B:項 合縮小 E:廃		∷改善・見直し
	109,286千円	①効率性	0 ②妥	当性	○ ③有効性	○ ④公平性 ○	⇒	■A	□В	□с	□D	□E
下水道使用料等賦課徴収事業	事業の概要	下水道使用	用料の賦	課、下	水道事業受益	者負担金及び分	担金の	賦課徴収	等			
		①効率性	②妥	当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要											
		①効率性	②妥	当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要											
		①効率性	②妥	当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要											
		①効率性	②妥	当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要											

事務事業の課題及び取組状況

	H23年度の課題	下水道使用料の適正化。使用料等の賦課漏れ処理や滞納整理。上下水道システム等調査の効率化。
HIG	果題解決のための取組	下水道使用料の改定に係る条例改正。使用料等の賦課漏れ処理や滞納整理。上下水道システムの稼働時間の延長要望。
	未解決の課題	下水道使用料のさらなる適正化。使用料等の賦課漏れ処理や滞納整理。上下水道システム等の調査の効率化。

中事業の評価と今後の方向性

	適切=〇	①効率性	0		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直UD:統合縮小 E:ß	₹止·休止	※口事業完了	
	要改善=△ (評価の視点 を参照)	②妥当性	0		下水道使用料の改定については、今後の経済情勢等を鑑み、時期や内容について検討が必要。	1	課長等名	
		③有効性	0	方向性	使用料等の賦課漏れ処理や滞納整理については、さらなる効率化や拡充を目指す。	٨	下水道河川課課長代理	
	7	④公平性	0		上下水道システムについては引き続き各市町と連携し、神 奈川県企業庁に稼働時間の延長を求める。	Α	戸張 隆	

(2面) 個別事業の概要 (単位:千円)

小事業名 ・ザイムスコード			個別事業名	00左座边签店	個別事業の評価結果			
小争未有								
			事務補助嘱託員報酬 1人	1,029		■適切	□見直し余地あり	
			臨時的任用職員賃金	832		■適切	□見直し余地あり	
	主な		受益者負担金・分担金一括納付報奨金	1,231		■適切	□見直し余地あり	
	な個		事務補助嘱託員費用弁償	144		■適切	□見直し余地あり	
下水道使用料等	別	532	下水道使用料納付書等印刷製本費	328		■適切	口見直し余地あり	
賦課徴収事業	事業	532	下水道使用料徴収事務委託料 他市への汚水処理等負担金	106,024	101,769		□見直し余地あり □見直し余地あり	
	未	332	他の人の方外処理寺員担並	3,690	3,039	■適切	口兄直し赤地のり	
						□適切	□見直し余地あり	
							_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	主な個							
	個							
	別							
	事業							
	^							
						口適切	□見直し余地あり	
	主							
	主な個別							
	別							
	事業							
	未							
						□適切	□見直し余地あり	
						口適切	口兄直し示心のり	
	→							
	土な							
	個							
	主な個別事業							
	業							
 						□適切	□見直し余地あり	
	÷							
	主な個別事業							
	個型							
	加事							
	業							